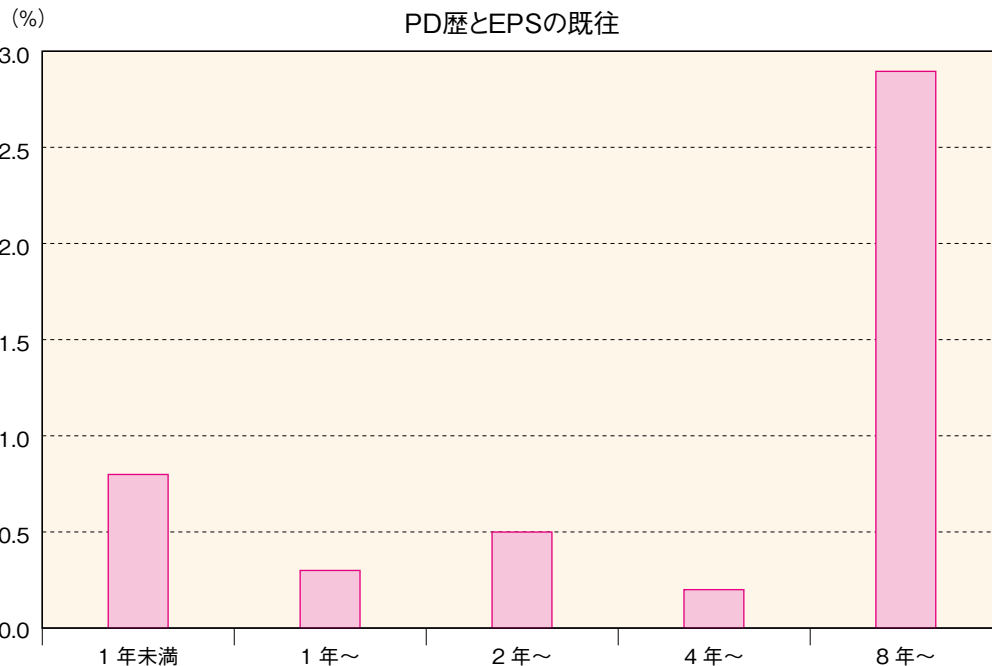


3) 腹膜透析調査

(7) 被嚢性腹膜硬化症 (EPS) の既往 (図表37)

PD経験者のEPSの既往

EPSの既往	なし	あり(剥離手術既往あり、ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往あり、ステロイド使用歴なし)	あり(剥離手術既往なし、ステロイド使用歴あり)	あり(剥離手術既往なし、ステロイド使用歴なし)	合計	不明	記載なし	総計
患者数	12,260	519	24	96	44	12,943	263	3,597	16,803
(%)	(94.7)	(4.0)	(0.2)	(0.7)	(0.3)	(100.0)			



EPSの既往	1年未満	1年～	2年～	4年～	8年～	合計	記載なし	総計
なし	1,175 (99.2)	874 (99.7)	1,221 (99.5)	1,065 (99.8)	401 (97.1)	4,736 (99.3)	7,524	12,260
あり(剥離手術既往あり、ステロイド使用歴あり)	9 (0.8)	3 (0.3)	3 (0.2)	1 (0.1)	6 (1.5)	22 (0.5)	497	519
あり(剥離手術既往あり、ステロイド使用歴なし)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24	24
あり(剥離手術既往なし、ステロイド使用歴あり)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.1)	1 (0.1)	3 (0.7)	5 (0.1)	91	96
あり(剥離手術既往なし、ステロイド使用歴なし)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.2)	0 (0.0)	3 (0.7)	5 (0.1)	39	44
合計	1,184 (100.0)	877 (100.0)	1,227 (100.0)	1,067 (100.0)	413 (100.0)	4,768 (100.0)	8,175	12,943
不明	10	15	13	11	13	62	201	263
記載なし	148	126	149	136	61	620	2,977	3,597
総計	1,342	1,018	1,389	1,214	487	5,450	11,353	16,803

集計対象：腹膜透析経験あり患者

解説

被嚢性腹膜硬化症 (EPS) に関する調査は全透析患者を対象に行った。PDの経験があり、EPSの既往について回答があった12,943名において、683名 (5.3%) にEPSの既往が認められた。EPSの既往を有する患者のうち543名 (79.5%) で剥離手術の既往が認められた。

PD歴とEPSの既往については4,768名から回答が得られ、EPSの既往はPD歴1年未満で0.8%、1年～2年未満で0.3%、2年～4年未満で0.5%、4年～8年未満で0.2%と低値で留まるのに対し、8年～では2.9%と著しい増加を認めた。

死亡統計においてEPSが死因とされたものは16名であった(2012年死亡患者の死亡原因集計から新たに算出)。